

各位



平成 27 年 12 月 11 日

会社名 株式会社テンポスバスターズ
代表者名 代表取締役社長 平野 忍
(コード番号：2751 JASDAQ)
問合せ先 広報 乙丸 千夏
TEL 03-3736-0319(代表)

連結子会社（株式会社あさくま）の連結業績に関するお知らせ

当社連結子会社の株式会社あさくま（代表取締役社長：森下篤史、本社：愛知県日進市）は、本日付で平成 28 年 3 月期第 2 四半期の連結業績（日本基準・連結）を下記の通りお知らせします。

平成 28 年 3 月期第 2 四半期の連結業績（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
平成 28 年 3 月期第 2 四半期	4,331	273	285	126
平成 27 年 3 月期第 2 四半期	2,830	361	363	207
増減率	53.0%	△24.3%	△21.4%	△39.1%

当第 2 四半期において、あさくまの直営店を 6 店舗、フランチャイズ店を 2 店舗出店しました。直営店の内、川越店は「ハンバーグ」を中心とした新業態の出店です。(埼玉県川越市)他にも、連結子会社である、株式会社あさくまサクセッションがビュッフェの“ファーマーズガーデン大泉店”(東京都練馬区)を 1 店舗出店すると共に、インドネシア料理レストラン“スラバヤ”4 店舗と、インドネシア小皿居酒屋“ワヤンバリ”1 店舗の計 5 店舗を事業譲受しました。また、平成 27 年 3 月期に子会社化した、株式会社きよっばち総本店が“房州きよっばち”(千葉県館山市)を出店しました。

このように店舗数を拡大したことで、当第 2 四半期の売上高は 43 億 31 百万円(前年同期比 53.0%増)となりましたが、営業利益 2 億 73 百万円(同 24.3%減)の結果となりました。あさくま単体の業績においては、売上高 27 億 97 百万円(同 26.7%増)、営業利益 3 億 84 百万円(同 21.1%増)、経常利益 3 億 94 百万円(同 22.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 2 億 31 百万円(同 23.9%)の業績をあげています。

これらの業績をあげるために、販促活動および従業員教育に力を入れて取り組みました。その中でも新しい取り組みとして、キッチンに従事する全従業員を対象に、料理の技術を競う「匠コンテスト」を実施し、グループ全体のスキルアップを図りました。「匠コンテスト」の実施により、覆面調査での料理のクオリティに対する評価がアップしたという効果もあらわれています。

他にも、販促活動の一環として、土産品「ピーカンナッツ」の推奨販売を行いました。結果として、8 月には全店で 6,200 個を販売するまでになり、この土産品を購入したいという理由で再来店する、「推奨販売によるリピーター客の獲得」に繋がりました。

一方で“房州きよっばち”の建築工事が遅れたことから、一部建物が不十分な状態での営業活動を余儀なくされ、当初想定していた売上や客数を確保することができませんでした。そのため、房州きよっばちは、当第 2 四半期において営業損失 71 百万円をだしています。また、あさくまグループとして、子会社化した新業態の投資と償却が先行したことが、当第 2 四半期において営業利益 2 億 73 百万円(同 24.3%減)の要因になりました。

以上